

6. 子どもたちの安全対策について。

(1) ICTを活用した見守りについて。

**【答弁】**

6. 子どもたちの安全対策についての(1)についてお答えいたします。

本市におけるICTを活用した見守りに係る現状につきましては、学校が利用しておりますメール配信システム会社が提供するサービスとして、ICタグを用いた見守りシステムが多くの学校で導入されている状況であります。しかしながら、このICタグによるシステムでは、登下校に伴う子どもの校門通過情報がメールで配信されるだけに留まり、自宅と学校を結ぶ通学路上の移動経路等については把握しきれない部分がございます。

平成30年6月に関係閣僚によってまとめられた「登下校防犯プラン」におきましても、地域の目の減少や見守りの空白地帯が生じていることへの強い懸念が示されており、多様な担い手による見守りの活性化や防犯教育の充実、集団登下校等の取組みに加え、ICタグを活用した登下校管理を始めとするICTを活用した防犯対策等の取組みを推進することの重要性が示されております。

近隣県や府内の自治体におきましては、登下校中の移動経路についても把握するために、通学路各所に電波受信機を設置して子どもの位置情報を確認できるシステムの運用や、GPSを活用した見守りシステムの導入など、積極的にICTを活用した取組み事例がございます。本市におきましても、平成30年第4回市議会定例会においてご質問いただきました、ICタグ活用による見守りシステムのさらなる充実について調査いたしましたところ、現在多くの学校が利用するメール配信システム会社が実施する、電柱に設置したカメラとビーコンを利用して見守りを行うサービスを提供することは可能であると確認いたしました。しかしながら、初期の設備投資に係る負担やICタグの普及が大きくは進んでいないことが課題であると認識しております。今後につきましては、GPSによる位置情報の確認や移動履歴の確認等を行えるサービスが開始される予定もあると聞き及んでおります。

本市教育委員会といたしましては、「登下校防犯プラン」に示されておりますように、登下校時における総合的な防犯対策を充実することの重要性を認識しておりますことから、既存の見守り活動等の取組みに加え、議員ご提案のICTを活用した児童見守りサービスにつきましても、他市の先進取組みを参考にしながら研究してまいりますとともに、保護者のニーズに応えることができるよう、様々な業者の情報を収集し、サービスの概要等について各学校を通して周知してまいります。

以上、お答えとさせていただきます。